



外科医の目と技を持った神経系総合医―脳外科医―が目指す医療

気になる病気にがぶり寄りシリーズ



第十六回



脳神経外科部長 今井英明

JCHO東京新宿メディカルセンターにおける脳神経外科（以下脳外科と略します）の紹介をさせていただきます。現在、脳外科としては、脳神経外科専門医4人、後期研修医1人、初期研修医の1人の合計6人が在籍しています。脳神経血管内治療科の3人（いずれも脳神経外科専門医）を合わせると9人で脳外科疾患の治療にあたっています。520床の当院の規模としては、脳外科医の数はそれなりに恵まれているといえます。したがって、24時間365日脳外科医が常駐することができ、脳外科疾患に対応しています。脳外科という名の通り外科です。メスをもって手術をしているという印象を一

般的には持たれるかと思いますが、それだけではありません。むしろ手術以外のことが多いのが日本における脳外科の特徴といえます。当院における脳外科も例外ではありません。脳外科は基本的な診療領域に属し、医療を支える根幹的な診療科であります。基幹病院においても脳外科は欠くことのできない診療科となっています。

具体的には、頭痛やめまいというごく一般的な症状で脳外科外来を受診されることが多いと思います。頭痛は、緊張型頭痛、偏頭痛、神経痛などに分類され、内服治療で済むものが頻度的には圧倒的に多いですが、一方で、脳血管解離、くも膜下出血、脳腫瘍、水頭症などいわゆる

随腫瘍や脊髄血管障害も、得意とする分野であります。また、中枢・末梢神経における種々の疾患に対する内科的治療、脳ドック、術前術後管理、外来等極めて多岐にわたっています。

脳外科は、脳・脊髄に生じる疾患の急性期から慢性期までの治療を網羅的に行う診療科であります。脳外科は神経系に対する高度な手術に限定されるものではなく、内科的治療センスも必要です。一言で脳外科を表現すると、「外科医の目と技を持った神経系総合医」といえます。



の雑感です。脳神経疾患という特徴をかんがみると、罹患してしまつた神経を元に戻すことは極めて難しいことと実感しているところであります。従いまして、理想的医療は、病気になる前から科学的データに基づいて医療介入を行い、積極的な予防策を提供する、いわゆる「先制医療」をJCHOで実現したいと夢を抱いております。

（脳神経外科 今井英明）

院スタグラム レストラン・カフェ オープン

新・健康レストラン
然の膳
ZEN no ZEN
● 本館2階にレストラン「然の膳」がオープンしました。



お茶食べよ
薬膳カフェ+お茶
Zeffee
● 病院正面入口の隣にカフェ「Zeffee」がオープンしました。



乳がんと乳房再建の最新情報

後編

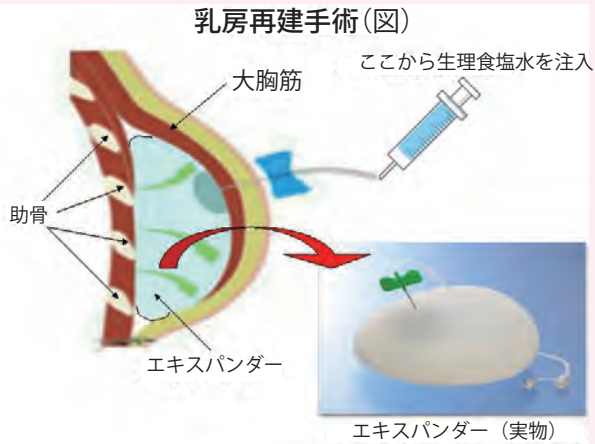
早期発見が重要。患者さまに寄り添った治療を推進していきます。

〔乳房再建とは〕

★富田 乳房再建術は乳房を失ったという喪失感に対し、少しでもお気持ちの負担を軽減するように図る手術なのですが、癌治療のためには必ずしもやらなくてもいい手術でもあるわけです。だからこそ、いっそう患者さまの声に耳を傾ける必要があります。そこで、私たちが関わる患者さまには、まず、リスク（手術に伴う合併症）とベネフィット（術後の見栄えという結果）について十分な時間をかけて説明し、満足な再建術を提供できるよう心がけています。

★丹羽 実際の手術の流れについて教えてください。

★富田 乳房再建はいくつかの段階を経て、元の形に近い乳房を作っていきます。癌の摘出と同時に再建をやるのか、というお問い合わせを



多く受けるのですが、癌の手術と同時でも、癌の手術から時間が経っても再建することが可能です。しかし、いづれにしても摘出

術の際に胸の皮膚も切除されてしまっているため、乳房部分の皮膚と筋肉を延ばす必要がありますから、まずはエキスパンダーと呼ばれる水風船のような袋を、乳房部分に埋め込むところから始まります。そして、このエキスパンダーの中に、数か月かけて少しずつ食塩水を追加していくことで胸部を膨らませてから、最終的な再建術に至るのです。

★丹羽 なるほど、すべての再建が終わるまでには結構長い時間が必要なのですね。では次に、再建術の材料や方法、保険適応について教えてください。

★富田 乳房部分の充填には自分の組織を使う場合とシリコンインプラントと呼ばれる人工物を使う場合があります。前者はおなかや背中の脂肪を皮下組織とあわせて採取してきて用います。このとき、採取する組織にしっかりと血流が流れていることが、良好な結果を得るためにとても重要となります。後者は豊胸術などに用いられているものです。昔のシリコン素材は



左から、形成外科 佐々木、富田 乳腺外科 丹羽、叶

被膜硬縮という反応を起こして、素材の周りがカチコチに硬くなりやすかったのですが、今ではずいぶん改良されてきました。ただし、何十年も同じ質感を保てるかどうかは保証されていませんし、また患者さまが歳を重ねる中で、反対側の乳房とのバランスにも差が生じますから、だいたい10年後に再度の再建術を検討いただく場合もあります。

乳頭は反対側の乳頭を利用することもあれば、胸の皮膚を用いて形成することもあります。ここまでは保険適応となります。この後、ご希望により乳頭や乳輪部に色付けするのですが、この過程は自費診療となります。着色は医療アートメイクと言われる入れ墨のような工程です。

★丹羽 私たち乳腺外科は再建の希望を患者さまに問う役割もあるのですが、中高年層の方か

らのご希望が少なくありません。よくよくお話をうかがうと、『これまでひたむきに頑張ってきた、これから第二の人生を満喫するために温泉旅行に行きたい、でもお風呂の時には乳房があったほうが・・・』という方も多いようです。発症した年齢にかかわらず、若年の方でも中高年の方でも、今後の生活や人生をより充実させ、身体的なご不安を少しでも取り除いてお過ごしいただくためにも、乳房再建の役割は大きいのです。

〔最後に〕

★丹羽 近年増加傾向にある乳癌ですが、治療法も豊富で、早期発見できれば、克服することでも十分期待できる癌となりました。そのためにもみなさまには積極的な検診をお願いしたいです。万が一見つかった場合には、私たちが全力で治療にあたらせていただきます。

★富田 乳癌の手術をこれからされる方も、過去にされた方も、少しでも乳房再建にご興味があれば、ぜひ外来でお話しができたらと思います。「癌の手術は命を救う、再建手術は心を救う」、そんな思いで治療にあたらせていただきます。

★叶 検査は女性技師が行い、女性医師も担当しておりますのでご安心ください。

(聞き手：藤井大輔)

※前編は、第42号かわら版に掲載



このマークはピンクリボンフェスティバル(日本対がん協会など主催)のマークです

私たち退院調整看護師です

私たち4名は退院に必要な準備や、退院後の生活を、安全、快適に過ごせるようにサポートする専任の看護師です。病気やけがで入院され、以前と同じような生活ができなくなった場合、私たちは、その人らしい生活を、住み慣れた地域で、安心して送れるよう、全力でお手伝いさせていただきます！！

リーダーの君島です。

「どこに退院したいか」また「退院後どんな生活をしたいか」など患者さまやご家族からお話をうかがい、いっしょに考えお手伝いさせていただきます。

退院後は以前と同じような生活が難しい場合も「その人らしい生活が送れるように」共に考えていきます。(竹永)



社会のサービスを活用し、安全で楽しい生活の場をつくりましょう！
(いつも元気な小島です)

まず、お話を聞かせて下さい。
お気兼ねなく・・・(江原)

私たちの具体的な仕事内容

1 退院先の調整

介護が必要で、退院後自宅での生活が難しいと思われる場合患者さまとご家族の立場に立って、退院先の調整をしていきます。

2 訪問診療や訪問看護に関する相談

歩行など移動が困難になり、退院後、かかりつけ医への通院が難しくなった場合など、訪問診療や訪問看護に関する相談、調整、紹介をしていきます。

3 介護サービスの紹介

入浴、ヘルパーさん、訪問リハビリ、家事援助などの社会的サービスについて説明させていただきます。

4 ケアマネジャーの紹介

などをおこなっています。

(退院調整看護師 君島 一葉)

みなさまの質問に お答えします

Q：退院はできそうだが家事は無理そう。
家で生活できるかな？

A：どんなご希望があるかよくお話を伺い、社会サービスをどのように活用するか一緒に考えていきます。

Q：相談する時、お金がかかるの？

A：患者さまの負担はありません。ご心配なく。

Q：予約が必要ですか？

A：通常は予約制ですが、初めての方は直接お越しください。予約いたします。

Q：どこに行けばいいですか？

A：本館1F、地域連携・総合相談センターです。遠慮なくご相談ください。

Q：プライバシーは守ってもらえるの？

A：病院職員には守秘義務があり、患者さまやご家族の方に不利益になることはありません。

平成29年度の本校の合格率は100%でした。国家試験は学生にとって3年間の集大成ですので、教職員一同大変喜ばしく、ほっとしました。病院実習での経験は学生にとって大きな知的財産として残ります。関わらせていただいた患者さまに感謝するとともに、本校卒業生がみなさまのお役に立てることを心から願っています。

全国には121万人の看護師が活躍していますが、男性は8・4万人とまだまだ少数派です。本校には男子学生も在籍し、目標に向かって頑張っています。が、男性の看護教員もいるので、男女ともに学びやすい環境を提供できるように心がけています。本校の教育活動についてはホームページでもご覧いただけます。お電話でのお問い合わせもお待ちしています。

(看護学校 福森茂樹)

看護専門学校だより ～看護師国家試験～

学校ホームページ：http://shinjuku.jcho.go.jp/kango/
住所：新宿区揚場町2-28 電話：03(3260)6291



看護師国家試験の準備をする学生

DMATとは？



みなさん『DMAT』と聞いてどんなイメージをお持ちでしょうか？

何となく災害時に活動する人たちというイメージはお持ちだと思います。正式名称はDisaster Medical Assistance Team（災害派遣医療チーム）の頭文字をとって『DMAT』と呼ばれ、医師・看護師・業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多くの傷病者が発生した事故の現場で急性期（概ね48時間以内）に活動できるような専門的な訓練を受けた医療チームです。



DMATのメンバー



災害時には「すべては被災地のために」を合言葉に多くのDMATが、行政や警察、消防、自衛隊と連携し活動にあたります。某医療ドラマのようなカッコいい姿を想像された方もいらっしゃると思いますが、実際には瓦礫のなかに入っ

て治療を行う機会はほぼありません。しかし活動内容は災害現場の医療だけでなく、被災地の病院支援や、救護所や避難所の巡回、広域医療搬送（被災地外への患者

さんの移送）など多岐にわたります。当院では医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務職員1名の計5名がDMAT隊員の資格を有し、定期的に研修や訓練に参加しており、先日は航空自衛隊入間基地での自衛隊輸送機を使用した、患者搬送訓練に参加してきました。



飛行機でGを体感

当院は大規模災害時にも、近隣住民の方の安全・健康を守る体制を整えていますのでご安心ください。（救急総合診療部 東原和哉）

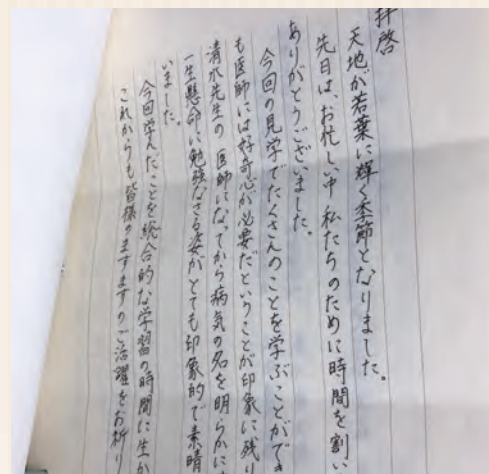
病院日記

中学生が取材に来てくれました

最近は総合学習という自分で興味のあることを調べる授業があるそうです。病院の広報を担当している私は、中学校の先生から取材をしたいとの電話を受け取りました。話を聞いてみると牛込中学校の生徒が来院して、医師と看護師の話を聞きたいとのことでした。将来医師や看護師を目指してくれたら嬉しいですし、社会貢献の意味もあり、喜んでお引き受けしました。

当日は6名の生徒が、緊張した面持ちで玄関にいましたので、笑顔でお迎えしました。まず体験として白衣に着替えていただき、インタビューの時間には、中学生と話したいと立候補してくれた若手の2名の男性医師が対応しました。2人ともお子さんがいるということ、生徒からの質問にわかりやすく答えていました。終了後には達筆なお礼状がとどき、当院が役を立ってよかったと心から思いました。

その後も立て続けに、山口県、愛知県の中学生在が修学旅行を兼ねて取材に訪れ、呼吸器内科医師や脊椎脊髄外科医師が対応しました。私は全てに同行しましたが、参加した生徒はもちろん、お話ししていた先生方も、普段はなかなか見せないようなリラックスした笑顔で対応し、楽しそうでした。医師になりたいと興味を持っている生徒には、医師になるには勉強は大変だけれど、どの仕事も学び続けることは必要で、学生



（総務企画課 山田有希子）